

学部 / 看護専門領域 / 健康・疾病・障害の理解 科目コード：120122					
疾病・障害論ⅡA（慢性期） Internal Medicine ⅡA					
担当教員	多久和 典子				
実務経験					
開講年次	1年次後期	単位数	1	授業形態	講義
必修・選択	必修	時間数	30		
Keywords	医療 循環器系 呼吸器系 正常構造と機能 病態生理				
学習目的・目標	<p>目的：疾病・障害論ⅡA・ⅡB・ⅡCのシリーズでは、1年次後期と2年次、計1年半をかけて、内科領域の疾患の基礎知識を学びます。人体の正常構造と機能（解剖と生理）の基本を理解していることが前提となります。ⅡAでは、はじめに医療者に共通する基本知識・概念を学びます。次いで、循環器系・呼吸器系について、解剖・生理の正しい理解の上に、臨床に必要な基礎知識を学びましょう。目標：（1）患者の主訴を聴き、医療面接、身体診察、臨床検査、診断、治療へと進む医療の進め方、患者を中心とした、信頼関係で結ばれた多職種との協働によるチーム医療、患者指導において必要な医療者の資質について説明できる。（2）循環器系・呼吸器系の正常な構造と機能、および、主要な疾患について、病態、症候（症状と徴候）、検査所見、治療、ケアと患者指導の要点を説明できる。</p>				
授業計画・内容					
回	内容				
1-5	<p>医療学入門（テキスト：日野原重明著「医学概論」（医学書院）（注：図書館所蔵））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者中心の医療の目標、多職種協働によるチーム医療 ・最善の医療提供への道筋（主訴・医療面接・身体診察・臨床検査） ・正しい診断に基づく治療方針の決定、説明に基づく患者自身の理解と選択・同意（インフォームドコンセント）、セカンドオピニオン ・治療：いのちのしくみに立脚した疾病の治療課程、原因療法と対症療法 <p>内科的治療（生活習慣の見直し、食事、安静あるいは運動、薬物療法）、外科療法（根治手術と姑息手術）、放射線療法、集学的治療、EBMとEBN</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緩和医療、看とりの医療 ・尊厳死と安楽死のちがい、脳死と植物状態のちがい ・看護師による生活指導の重要性：セルフケアの推進と疾病予防 ・医療のサイエンスとアート：専門知識・技術・コミュニケーション能力 				
6-10	<p>循環器系</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.基礎：体循環と肺循環、心臓の構造、刺激伝導系、心周期、血管の構造、血圧の調節機構 ほか 2.臨床：症候学、心音、心雑音、検査と治療（心電図、胸部X線撮影、心エコー図、カテーテル検査、経皮的冠動脈インターベンション、ペースメーカー、循環器疾患の薬物療法 ほか）主要疾患（心不全、先天性心疾患、心臓弁膜症、感染性心内膜炎、高血圧、粥状動脈硬化、虚血性心疾患、不整脈、心筋疾患、心膜疾患・心タンポナーデ、解離性大動脈瘤、閉塞性動脈硬化症）など 				
11-15	<p>呼吸器系</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.基礎：気道と肺、胸膜、肺循環、呼吸運動、換気とガス交換、呼吸の化学調節 ほか 2.臨床：症候学、異常呼吸音、呼吸困難と呼吸不全、検査と治療（喀痰検査、画像診断、呼吸機能検査、SpO₂、動脈血ガス分析、気管支鏡、呼吸器疾患の薬物療法 ほか）、主要疾患（呼吸器感染症、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、気管支喘息、過敏性肺炎、サルコイドーシス、間質性肺疾患、塵肺、気管支拡張症、無気肺、気胸、肺血栓塞栓症、悪性腫瘍（小細胞・非小細胞肺癌、転移性肺癌、悪性胸膜中皮腫）、換気異常（過換気症候群、睡眠時無呼吸症候群））など 				
教科書	<p>（1）看護のための臨床病態学（南山堂）：通読により基礎知識が体系的に身につく（はず）。予習・復習で読み込むこと。（2）看護師・看護学生のためのレビューブック（メディックメディア）：エッセンス</p>				
参考図書等	<p>病気がみえる（メディックメディア）Vol.2（循環器）, Vol.4（呼吸器）：臨床の実際が分かる・詳しく調べられる 系統看護学講座（医学書院）専門分野Ⅱ：[3] 循環器 [2] 呼吸器 看護師国試対策START BOOK 解剖生理と疾病の特性（南山堂）：看護師国家試験へのウォーミングアップ カラー図解 人体の正常構造と機能（日本医事新報社）</p>				
評価指標	<p>・成績判定の対象者：出席2/3以上、課題をすべて提出している。・定期試験の結果100%で評価する。</p>				
関連科目	<p>疾病・障害論ⅡB, ⅡC, ⅠA, ⅠB、看護学、とくに基礎看護学、成人看護学、老年看護学の各科目 フィジカルアセスメント、人間機能学Ⅰ, Ⅱ、人間病態学Ⅰ, Ⅱ、臨床栄養学、人類生物学</p>				
教員から学生へのメッセージ	<p>教科書（1）を読んで予習し、講義内容を（2）に補足記入して復習しmy textを作り上げ、実習で活用しましょう。患者・医療者双方から信頼されるプロフェッショナルをめざしましょう。</p>				